

第4回多度地区小中一貫校地域協議会 会議概要

開催日時 令和2年11月7日(土) 14:00~15:30

開催場所 多度まちづくり拠点施設 講堂

出席委員 22名中 19名

1. 開会

2. 議事

(1) 基本計画(案) 5・6について

Aグループ

SDGsなど意味が分かりにくい語句があるので分かりやすい表現をしてほしい。誰でも分かる表現にしてほしい。基本計画の学校づくりの考え方について、方向性は良い。ハード面のみでなく、ソフト面の活用方法などを今後、しっかり検討していくべきだと思う。学校はひとつであり、5章の構成を縦と横に再構成する必要がある。昔遊びを教える高齢者のことも考えて、アクセスしやすい環境整備が重要。地域交流スペースは、新しい学校の中の一つだけでは地域として利用しづらい。SDGsの考え方は、環境や防災だけではなく広い視野が必要である。コミュニティスクールが進んでいるが、教職員は忙しく、対応できない。地域の人や元教員等の地域と学校をつなぐ人が常駐した方が良い。

Bグループ

「8年生・9年生になったら」という義務教育学校を前提にした表現と「小学校6学年 中学校3学年」という小中一貫校を前提とした表現が混在しており、学校づくりの前提で整理がついていない。学校づくりについて「縦のつながり」と「横のつながり」を大項目にして、全て「縦」と「横」で整理し直す方が良い。「コミュニティスクール」などの専門用語には、注釈や用語説明を書くべき。「普通教室3教室」について、教育現場(運動会や行事)での使い勝手を考え、偶数(4教室)にした方が良いのでは。また、感染症対策の面や、国でも30人学級の話が上がっていることから、「普通教室」の段落に“空間の確保”についての文章を加えてはどうか。「諸室計画」の中に「保健室」の項目がないが、メンタル不調者と身体不調者で部屋を分けるか、せめて仕切りを作れるような空間(保健室)にすべきであり、「相談室」という項目で新たに加えてはどうか。「敷地の形状や高低差を活かした計画」とあるが、子どもたちの安全面への視点・配慮の表現も加えてほしい。

Cグループ

基本構想にはまだ案がついているが、早く案を取って確定させるべき。「8年生・9年生になったら」という表現が4-3-2の区分を連想させるが、まだ区分が確定していないので先に議論すべき。それによって設計も変わってくる。登下校について、待機する子どもが出ないようにスクールバス以外にも例えばコミュニティバスなどの利用も検討してはどうか。駐車場は「100台を目標」とあるが、保護者会や休日のスポ少での利用等を考えると、教職員用とあわせて100台では少ないのではないかと。

「必要機能」と「諸室計画」は整合性が取れていないので、対応しているべき。グラウンドや体育館は2面整備すると記載してはどうか。普通教室に関しては、コロナウィルスへの対応もあり、余裕をもって整備すべき。

(2) 基本計画(案) 7・8について

Aグループ

多度駅が近いので交通の便が良く、東地区は電車通学も可能である。スムーズな小中一貫校のスタートには、各小学校の子どもたちの交流が重要。以前は4小学校で多くの合同行事があったが、なくなってきた。開校準備について、議論する期間を3～4年かけるのは良い。地域の人や元教員等の地域と学校をつなぐ人が常駐した方が良い。子どもたちの心情が重要で、なくなる学校の子も達は、統合されたような気持ちになる。子どもたちが希望をもって新しい学校に行けるようにしてほしい。通学バスの待ち時間があると登下校の時間が限定される。9年間で教育を考える4-3-2が良い。つなぎの”3“が重要。教科担任制の活用。4-3-2の3は中一ギャップの解消がスムーズとなりメリットであるが、節目が重要となる。入学式・卒業式は残すべき。校舎アレンジで4-3-2の区別をしているところもある。

Bグループ

スケジュールについて、天王平遺跡の発掘調査について書かれておらず、重要な埋蔵物が出てきた場合の大幅な遅れの可能性についても言及すべき。ただし、事業推進の早急な対応が必要な状況である旨も触れておく。また、開校後の予定についても、例えば、地域との関わりなどについても書いておくべき。学校の枠組みについては、「4-3-2の区分を目指して」というような、より積極的な表現を使って4-3-2の区分導入の方向性を打ち出した文章にすべき。複合施設についての文章は、全面的に改訂するべき。開校時に向けての子どもたちの交流について、「児童・教職員の負担を軽く」「授業時間は確保する」の観点での文言も必要。

Cグループ

学校の枠組みについてと複合施設については、設計前に決めておかないと設計できないのではない。情報発信について、全戸に対して「かわら版」を発行してもらっているが、節目節目で図なども入れて見やすいものを発行してほしい。自治会については、まずは各地区の3役にきちんと情報周知して欲しい。1月の新自治会長会議でも周知してほしい。保護者は、まだ小中一貫校への疑問も多いので、一貫校の魅力についてどんどん発信してほしい。義務教育学校は、特に教員にとって小と中の区切りがよりなくなるのは良いが、初めからだハードルが高いという懸念もある。

3. その他

4. 閉会